Kumamoto City

News Release

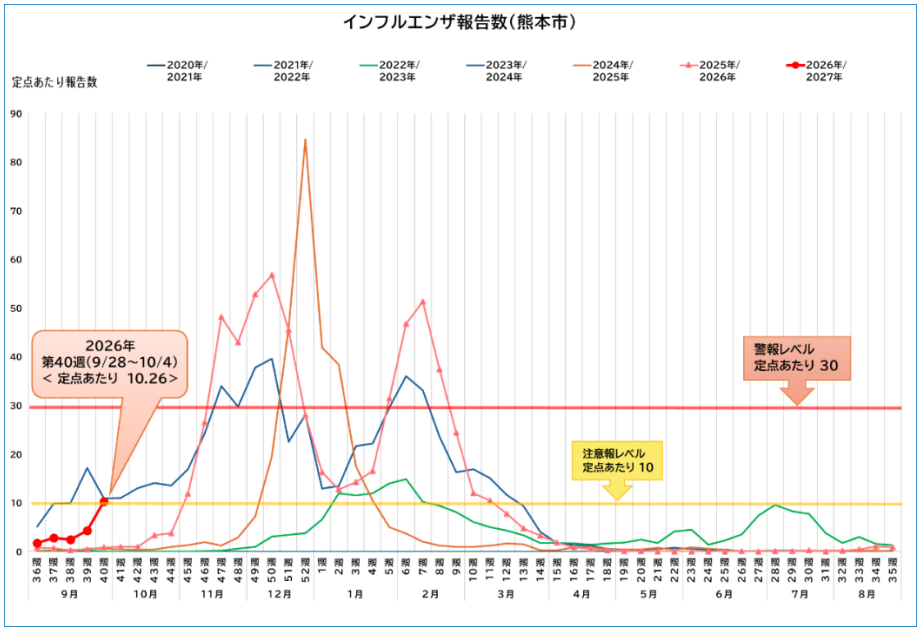
令和 8 年(2026 年)10 月 9 日

インフルエンザが注意報レベルを超えました

感染症発生動向調査において、第 40 週（9 月 28 日～10 月 4 日）の熊本市の定点医療機関当たりのインフルエンザの患者報告数が「10.26」となり、国が定める注意報レベルの基準値（10）を超えました。

市民の皆様におかれましては、手洗い、換気、咳エチケット等の基本的な感染予防対策を徹底していただきますようお願いいたします。

【熊本市の定点あたりの患者報告数の推移】



※2020 年/2021 年および 2021 年/2022 年は、報告数が 1.0 未満のためグラフに表示されておりません。

【全国・熊本県・熊本市の定点あたりの患者報告数の推移（直近 5 週分)】

	第 36 週 (8/31～9/6)	第 37 週 (9/7～13)	第 38 週 (9/14～20)	第 39 週 (9/21～27)	第 40 週 (9/28～10/4)
全国	3.29	5.54	8.48	7.17	11.35
熊本県	1.03	2.14	3.38	3.86	10.2
熊本市	1.74	2.83	2.43	4.35	10.26

※定点当たりの患者報告数とは、1 週間のうち定点医療機関（あらかじめ選定された市内 23 医療機関）から報告された患者数を定点医療機関数で割った値です。

※インフルエンザの流行基準【国が定める基準】

警報レベル　　定点あたりの患者報告数　30

注意報レベル　定点あたりの患者報告数　10

裏面あり

【インフルエンザについて】

1　インフルエンザとは？

インフルエンザウイルスに感染することによって起こる感染症です。主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」で、発熱、咳、頭痛などの症状を呈します。重症化すると肺炎や脳炎を引き起こし、死亡に至ることがあります。

インフルエンザは、流行開始時期や流行規模に差はあるものの、例年 11 月から 12 月頃に流行が始まり、翌年の 1 から 3 月頃に患者が増加します。

また、高齢者、乳幼児、妊婦、種々の慢性疾患を持つ方は、インフルエンザにかかると重症化するリスクが高いため、特に注意が必要です。

2　予防・対策は？

(1) 流行前のワクチン接種

インフルエンザの予防接種は、発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果があります。接種を希望される方は、早めに接種しましょう。

(2) 外出後の手洗い等

こまめに石鹸と流水で手を洗いましょう。インフルエンザウイルスにはアルコール製剤による手指消毒も効果があります。

(3) 室内のこまめな換気と適度な湿度の保持

室内の十分な換気が重要です。また、空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことも効果的です。

(4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

(5) 人混みや繁華街への外出を控える

やむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合には、不織布（ふしょくふ）マスクを着用することが効果的です。

【問い合わせ先】
健康危機管理課
電話：096-364-3311
課長：坂本　まゆ（さかもと　まゆ）